

まきりは

VOL.37
2026年 9月



特集

病院機能評価の認定を受けました

リハビリテーション 3rd.G

高度・専門機能(リハビリテーション)

CONTENTS

Medical for Happiness … P 4

Topics … P5

「地域とともに取り組む健康づくり」

「未来へつながる改善活動」

訪問リハビリテーション Diary … P6

デイケア Newsletter … P7

牧リハビリテーション病院が 病院機能評価の認定を受けました！

当院が2026年5月に認定された「病院機能評価」。今回の特集では、この「病院機能評価」について、評価のポイントに加え、認定を受けるために当院が実施した取り組みや工夫についてご紹介します。

「病院機能評価」をご存知ですか？

「病院機能評価」は、国民の健康と福祉の向上に貢献することを目指す公益財団法人として1995年に設立された日本医療機能評価機構が実施する評価制度です。病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。



病院機能評価の認定マーク。見かけたことはありますか？

評価を行う項目

患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制

実際に医療を提供するプロセス

病院全体の管理・運営体制

など、約90項目があり、
安全・安心・質の高い医療が提供されているか？
が総合的に評価されています。

チームの力を未来へつなぐ ～さらなる医療の質向上へ～

このたび当院は、日本医療機能評価機構による病院機能評価において、「リハビリテーション3rd.G」(認定3回目)に加え、「高度・専門機能(リハビリテーション)」の認定を取得しました。

認定に向けては、多職種が一丸となって準備を進める中で、日頃の業務や医療の質を改めて見つめ直し、より質の高いリハビリテーション医療の提供を目指して改善を重ねてまいりました。特に、「高度・専門機能(リハビリテーション)」は今回が初めての受審であり、これまでの取り組みが第三者機関から評価されたことは、職員にとって大きな喜びとなっています。

この認定を励みに、今後多職種が連携しながら、患者

さん一人ひとりに質の高いリハビリテーションを提供するとともに、継続的な医療の質向上に努めてまいります。

機能評価委員会 大泉 貴志



特に高く評価された項目において
当院が注力した取り組みはこちら！



評価された項目①

リハビリテーション機能を適切に発揮している



リハビリテーション(以下、リハビリ)の効果を高めるためには、各専門職が専門性を発揮するだけでなく、多職種が連携して患者さんを支えることが重要です。また、リハビリは日常生活の中で実践することで、その効果をより発揮します。当院では、機能訓練と病棟での生活が切り離されることのないよう、定期的なカンファレンスを通じて、患者さん一人ひとりの目標の達成状況や病棟での生活の様子を多職種で共有しています。さらに、病棟スタッフとリハビリスタッフが連携し、生活場面でのリハビリや介助方法を分かりやすく書面で共有するなど、「生活そのものがリハビリ」となるよう、患者さんの自立と安心した生活の実現を支援しています。

作業療法科 濱野 久美

評価された項目②

自宅復帰に向けた多職種による協働



入退院支援部門では、患者さんが安心して住み慣れた地域へ戻り、その人らしい生活を継続できるよう、多職種や地域の医療・介護関係者と連携しながら支援を行っています。このたび受審した「高度・専門機能(リハビリテーション)」では、入院初期から生活背景や住環境を把握し、退院前カンファレンスや自宅訪問、関係機関との情報共有を通じた切れ目のない支援について評価をいただきました。また、病棟の退院支援看護師が退院後2週間以内を目安に毎月3～5件の電話訪問を実施し、生活状況や健康状態を確認しています。その内容は多職種で共有し、必要に応じて関係機関と連携しながら継続した支援につなげています。今後も患者さん一人ひとりの退院後の生活を見据え、より質の高い入退院支援の充実に努めてまいります。

入退院支援部門 看護師 南畑 久美子

評価された項目③

地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている



当院では、地域住民の皆さまが住み慣れたまちで健康に暮らし続けられるよう、医療・介護・福祉機関や行政と連携した取り組みを行っています。門真市との「健康づくりの推進に関する協定」に基づく活動では、市民向け健康教室を毎月開催するなど、フレイル予防や生活機能の維持・向上に努めています。また、「RUN伴+門真」をはじめとする地域イベントにも積極的に参加し、住民の皆さまとの交流を深める機会を大切にしています。さらに、「まきりは連携の会」を年2回開催し、医療・介護・福祉関係者との情報共有や意見交換を通じて、顔の見える関係づくりを進めています。これからも地域とのつながりを大切に、皆さまから信頼される病院を目指してまいります。

地域連携室 名本 あゆみ

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

わたしたちの理念

Professional・Heart・Team

が息づくエピソード

【今回のテーマ】

Heart | 患者さんの想いに寄り添い、多職種で叶えた早期退院

入院中の患者さんがふと「余命宣告を受けた家族と、少しでも長く一緒に過ごしたい」と胸の内を話してくださいました。

入院して間もない時期だったため、ご本人は「今すぐ退院するのは難しい」と諦めておられました。しかし、その言葉を伺い、私は「この方にとって本当に大切なのは、できるだけ早く家族のもとへ帰ることだ」と感じました。

すぐに主治医へ報告し、医師、看護師、医療ソーシャルワーカーなど多職種で早期退院に向けた支援を開始しました。私はセラピストとして、現在の身体機能で安全に生活できる移動方法や日常生活動作を検討し、退院後の生活を見据えた支援を行いました。それぞれの専門職が患者さんの願いを共有し、力を合わせた結果、当初の予定より早い退院が実現しました。

退院後しばらくして、患者さんから「家族とゆっくり過ご

す時間を持つことができ、最期を見送ることができました。ありがとうございました」とお電話をいただきました。

この経験を通して改めて感じたのは、患者さんが心の中で本当に望んでいることを知るためには、お一人おひとりと丁寧に向き合うことが何より大切だということです。言葉の表面的な意味だけを受け取るのではなく、その奥にある想いや願いに耳を傾け、患者さんにとって何が最も大切なのかを共に考え、目指すべき目標を明確にすることも、専門職として重要な役割だと考えています。

患者さんの人生や価値観に寄り添い、多職種と力を合わせながら、その人らしい生活を支える最善の方法を考え続けること。それが、私たちが大切にしている「Professional」の姿勢です。これからも一つひとつの出会いを大切に、患者さんの想いに応えられる医療を目指して、日々研鑽を重ねていきます。



TOPICS 1

地域とともに取り組む健康づくり

当院では、地域の皆さまの健康づくりと健康寿命の延伸を目的に、毎月1回、スタッフが地域の集会所などへ伺い、体操教室を開催しています。

今年度は、千石西町の集会所を会場に、地域包括支援センターと連携して「通いの場」をサポートしています。教室では、自宅でも継続できる体操や転倒予防につながる運動などを取り入れ、無理なく楽しく体を動かせる内容を実施しています。

また、定期的に体力測定やInBody（体成分分析）測定を行い、ご自身の体の変化を確認しながら、意欲を高めていただけるよう取り組んでいます。

これからも地域の皆さまが、健康でいきいきと暮らし続けられるよう、健康づくりを支援してまいります。



TOPICS 2

未来へつながる改善活動

～TQM大会を開催しました～

患者さんにより安心して、気持ちよく医療を受けていただけるよう、当院では日々の業務を見直し、より良い医療・サービスの提供に向けた改善活動（TQM※活動）に取り組んでいます。

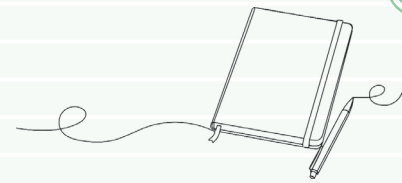
TQM大会では、各部署が工夫を重ねてきた改善事例を発表し、職員同士が学びや気づきを共有しました。

一つひとつの小さな改善の積み重ねを大切に、今日の一步を明日へとつなげ、これからも安心と信頼につながる医療を目指して歩み続けます。

※TQM(Total Quality Management) とは、病院や医療機関の職員が一体となって、医療安全や患者サービスといった「医療の質」を維持・向上させるための改善活動のことです。



訪問リハビリテーション Diary



全国学会での学びを、これからの訪問リハビリテーションへ

5月23・24日に北海道札幌市で開催された「第28回日本訪問リハビリテーション協会学術大会」に参加し、発表を行いました。演題は「訪問リハビリテーションにおける『食べられるもの探し』の支援が在宅生活継続に寄与した一例」です。

今回報告した事例の、利用者さんは自宅での転倒をきっかけに心身の状態が変化し、リハビリテーションにもなかなか取り組めず、徐々に日常生活へ影響が生じていました。そこで、運動機能の改善だけでなく、「食べること」に視点を切り替え、その方が安心して食べられるものを一緒に探しながら、食事面へのアプローチを進めました。在宅では、食事や栄養管理の難しさを感じる場面が少なくありません。そのような中でも、生活に寄り添いながら支援できる訪問リハビリテーションだからこそ果たせる役割の重要性を伝えたいと思い、発表に臨みました。

私にとって全国学会での発表は初めての経験でした。演題採択の知らせを受けた時は喜びを感じる一方で、「本当に自分にできるのだろうか」という不安や緊張もありました。当日は約100名が参加する会場で発表を行い、全国の同業者を前にとっても緊張しましたが、利用者さんをはじめ、ご協力いただいた皆さまへの感謝の気持ちを胸に最後まで発表することができました。質疑応答ではさまざまなご意見をいただき、自分では気付かなかった視点や新たな考え方を学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。発表を終えた後は緊張から解放され、その後の学会はリラックスして参加できました。

もともと大勢の前で話すことは得意ではありませんでしたが、今回思い切って挑戦し、最後までやり遂げられたことは自分にとって大きな自信となりました。また、全国の訪問リハビリテーションに携わる方々の発表を通して、まだまだ学ばべきことが多くあると改めて実感しました。地域によって環境や社会資源は異なりますが、「その人らしい生活を支える」という思いは全国共通です。今回得た学びを日々の支援に生かし、利用者さん一人ひとりに寄り添いながら、より良いリハビリテーションを提供できるよう、これからも研鑽を積んでいきたいと思います。

訪問リハビリテーション 薄雲 勇人

北海道グルメも満喫！

せっかくの北海道。観光をする時間はあまりありませんでしたが、海鮮やジンギスカン、スープカレーなど北海道ならではのグルメを満喫しました。唯一、楽しみにしていたウニ専門店が臨時休業だったことだけが心残りです。次回訪れる際の楽しみにしたいと思います。



デイケア Newsletter

「みんなで楽しいクイズ&ゲーム大会！」

デイケア門真では5月21日～5月27日にクイズとゲームのイベントを開催しました！

クイズは3択形式で1日10問出題し、たくさん正解された方には、ささやかな景品をご用意しました。問題は、「スタッフは何人？」「送迎車は何台？」といったデイケアに関するものや、都道府県に関するもの、さらにインドネシアについての内容を出題しました。

昨年、インドネシア国籍のスタッフが仲間入りしたので、利用者さんにもインドネシアのことをもっと知りたいと思い、「インドネシアの挨拶は？」「有名な料理は？」などの問題も取り入れました。クイズの答えを聞いた利用者さんからは、「ナシゴレンなんて初めて聞いたわ、どんな料理かな？」と興味を持たれたり、「スラムパギ（おはようございます）」をさっそく使ってくださいる方もいました。「ちょっと難しかったけど面白かった!!」という声も聞

かれ、皆さんに楽しんでいただきました。

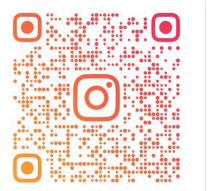
そしてゲームでは、うちわを使って、向かい合った相手チームの陣地へ手作りの金魚を送り込む、「金魚あっちいけ!ゲーム」を行いました。スタートの合図の前からうちわいっぱい金魚を乗せて準備したり、夢中になるあまり手で金魚をつかんでしまったりと、大盛り上がり。30秒間、一生懸命に金魚をすくい、相手の陣地へ送り込み、白熱した試合が繰り広げられました。

ゲーム終了後も興奮冷めやらぬ様子で「物足りひんから、もうちょっとやりたいわ」「すごい楽しかったよ」といった嬉しい感想をいただき、笑顔あふれるイベントとなりました。

クイズやゲームの様子はインスタグラムにも掲載しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。



イベントの様子は
こちらから



5月30日にシェアされた投稿
作成者: MANI DAYCARE_KADOMA

編集後記

Editor's note

患者さんご家族の皆さまに、季節感と懐かしさを楽しんでいただきたいの思いから、8月31日に夏祭りを開催しました。当日は、入院患者さん70名、ご家族40名の計110名が参加され、会場は笑顔と活気に包まれました。

会場では、縁日や食べ物・飲み物コーナー、フォトスタジオなど、夏祭りならではの催しを用意しました。皆さん童心に返ったようにゲームを楽しまれ、盆踊りでは音楽に合わせて身体を動かす姿も見られました。



参加された方からは、「病院でこんなに楽しいことができていると思っていなかった」「想像以上に本格的で、孫も喜んで」「盆踊りが踊れて良かった。楽しかった」など、嬉しい声をいただきました。

普段とは少し違った雰囲気の中で、患者さんご家族の笑顔につながる貴重な機会となりました。また、皆さまの笑顔や笑い声は、職員にとっても大きな励みとなりました。ご参加・ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

夏祭り実行委員長 山口美保子



牧リハビリテーション病院

〒571-0015 大阪府門真市三ツ島3丁目6番34号
TEL.072-887-0010

病院をもっと身近に感じていただくために
Instagramで
情報を発信しています！



【牧リハビリテーション病院】



【デイケア門真】

PURPOSE 社会的意義

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

PROMISE 私たちの約束

「Professional」

医療人としての誇りと謙虚さをもち、日々研鑽を重ねます。

「Heart」

あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

「Team」

和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。